

ボランティア伝言板



冬号

発行 佐伯区社会福祉協議会ボランティアセンター
〒731-5135 広島市佐伯区海老園1-4-5
佐伯区地域福祉センター（佐伯区役所別館）5F
TEL(082)921-3360 FAX(082)924-2349
令和5年2月発行

決定

佐伯区ボランティアセンターキャラクター愛称

11月に、佐伯区ボランティアセンターマスコットキャラクターの愛称を募集し、ご応募をいただいた中から厳選した候補について、12月に最終投票を行ないました。

その結果、愛称は以下の通り決定しましたのでご報告します。ご協力、ありがとうございました。

金賞 ユニット名 【サエキーズ】（佐伯区 佐伯 元子様）



キー坊

さえちゃん

◆賞品：クオカード(5,000円分)+賞状贈呈◆

●惜しいで賞（決選投票に残った方）4名

賞品：クオカード+サンフレッチェ記念切手シート贈呈

- ・太助&愛 佐伯区 笠井様
- ・メイプル&チェリー（愛愛ツリー） 佐伯区 渡部様
- ・ささえくん&あいちゃん 佐伯区 松嶋様、井藤様

※既に広島県の別のキャラクター名として利用されていたため投票からは除外しました。

●審査委員会賞（審査委員会選）2名

賞品：支援センターあいる 手作り小物

- ・きくちゃん&さえちゃん 佐伯区 廣中様
- ・ほっこりい&なごみい 佐伯区 小島様

●作者賞（キャラクターを描いてくださった、で・あるーく曾根さん選）2名

賞品：支援センターあいる 手作り小物

- ・つなぐくん&こころちゃん 佐伯区 繁山さん、佐伯区 竹上さん

●ニアミス賞（決定した愛称とひとつが同じ等）

賞品：皆賀園 クッキー 6名

※作者賞、審査委員会賞の賞品は、支援センターあいる様よりご提供いただきました。

◆これからキャラクターと共にボランティアセンターをよろしく願いいたします◆

とびだせボラセンインタビュー

今回は、幅広いボランティア活動をしておられる成田 晴彦さんにお話を伺いました。

Q. ボランティアを始めたきっかけを教えてください。

A. 自分で言うのもおかしいですが、仕事人間で退職するとき同僚に、「仕事を辞めたら、気分が落ち込むんじゃないですか」と言われて、「そうかなあ〜」と思ったのがきっかけです。

Q. どんな活動をしておられますか？

A. 「紙ふうせん」「きりり塾（認知症に寄り添う会）」「さえきふれ愛グループ」「白い三輪車の会」「親っこさえき」「宿題やつつけ隊」など佐伯区地域福祉センターでの活動に加えて、小学校のパトロールやウォーキングボランティア（下校見守り）・地区社協・町内会役員など地域でも複数活動しています。

Q. ボランティア活動をしてみて、感じていることがありますか？

A. 「おかえり！」と言って毎日子ども達を迎えています、目がちょっと悪いため最近は学校以外で出会っても子どもたちから声をかけてくれることが多くなりました。とても嬉しいです。先日、学校の帰りに恋愛相談をしてきた子どももいました。

Q. これからの抱負は・・・

A. 転勤族で佐伯区は退職後に住み始めたのであまり馴染んでいませんでした。昔から、なんでもやってみる精神があります。活動を始めてみたら、いろいろな人と知り合えたことは良かったと思います。活動対象は、障がい者や高齢者、子どもや乳児・・・趣味も含めてほぼ毎日出かけていますが、引きこもらないようにポジティブ思考でいきたいと考えています。

★★★ボランティアコーディネーターから一言：70歳までお仕事をしておられたと伺いましたが、それと全く違うフィールドで多種多様なご活躍は目を見張る思いがします。これからもよろしくお願いします。



成田 晴彦さん

“あいるカフェ”再開しました

コロナ禍で、約3年間開催できなかった“あいるカフェ”がやっと再開の運びとなりました。皆さま、お待たせしました♡毎月第2金曜日、佐伯区ボランティアセンターで始めています。支援センターあいるの皆さんが作成した小物もありますので、是非、お立ち寄りください。



開催時間

12:00~

14:00迄



学生とボランティアとの交流を紹介します♡

学生+地域のボランティア



数年前、ボランティア研修会で「コミュニケーション麻雀」の体験会をしたところ、美鈴が丘地区社会福祉協議会がいち早くこの麻雀パイを作成され、「パイはあるけど、絵を描いてくれそうな人はいないだろうか」と相談を受けていました。このたび、美鈴が丘高校のボランティアクラブ「あすなる会」の顧問（教諭）に相談すると、「是非、学生たちに作らせたいたい」とおっしゃってください、同校を地区社協のボランティアさんと一緒に訪問しました。コミュニケーション麻雀を見て体験してもらうためです。パイは大きく（積み木サイズ、1個のパイが約250g）身体全体を使って混ぜなければならないし、パイに触るのも利き手ではない手を使うというルールがあります。3月17日には、同校で地域の方々とのコミュニケーション麻雀での交流が予定されているそうです。



コミュニケーション麻雀パイ



地域のボランティアと学生との交流

学生+ボランティアグループ



6月に開催した「^{まなびや}学び舎 ^{さすけ}佐助」手話講座が縁で、11月の中旬、修大付属協創中・高等学校に「ボランティアサークルかえで会」の皆さん5名と訪問しました。

中学生と高校生の手話クラブの活動は、毎週木曜日の午後4時からで、その時間に合わせて交流が始まりました。ろう者の佐々木さんが、次々に来る学生たちと手話で気さくにフリートーク。

最初は緊張していた学生たちもだんだんと佐々木ワールドに引き込まれて、何かしら身振りも交えて手話表現をしていました。「学生たちは、新しい表現もすぐに覚える」「学生との交流は若返って楽しい」などボランティアさんからの感想が聞かれました。楽しい、たのしいひと時でした。

これがきっかけで、月に1度、同校のクラブ活動日に訪問し交流することが決まりました。



手話でフリートークしています



「かえで会」の皆さんと学生たち

令和5年度 ボランティア活動保険 の更新のお知らせ！

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償します。



加入対象：社会福祉協議会およびその構成員・会員ならびに社会福祉協議会が運営するボランティア・市民活動センターなどに登録されているボランティア、ボランティアグループ、団体、対象となるボランティア活動。

補償内容：ボランティアがボランティア活動中の急激かつ偶然な外来の事故によりケガをされた場合や、偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の物をこわしたことにより法律上の損害賠償責任を負われた場合。

♣補償期間・・・令和5年4月1日～令和6年3月31日

♣年間保険料・・・基本プラン 350円 / 天災・地震補償プラン 500円

♣申し込み・お問い合わせ・・・広島市佐伯区社会福祉協議会 TEL (082) 921-3113

保険金額		基本プラン	天災・地震補償プラン
死亡保険金		1,040万円	1,040万円
後遺障害保険金(限度額)		1,040万円	1,040万円
入院保険金日額		6,500円	6,500円
手術	入院中の手術	65,000円	65,000円
保険金	通院中の手術	32,500円	32,500円
通院保険金日額		4,000円	4,000円
地震・噴火・津波によるケガ		×	○
賠償責任(限度額)		5億円	5億円



～えいごのみ情報～

認知症予防教室「花サカス」開催のご案内

“思い出話に花を咲かせましょう” 認知症予防・介護予防に有効とされる「回想法」を使ったサロンを開催しています。どなたでもOK♡
お気軽にご参加ください。
開催日：令和5年3月1日(水)
場 所：佐伯区地域福祉センター
時 間：13:30～15:00
参加費：100円 *いきいき活動ポイント対象

コミュニケーション麻雀開催のご案内

日にち：令和5年2月28日(火)
時 間：10:00～12:00
場 所：佐伯区地域福祉センター
*いきいき活動ポイント対象



♠お問い合わせ：佐伯区ボランティアセンター TEL (082) 921-3360

編集後記

3年半、コロナ禍でのボランティア活動はさぞ大変だったと思います。
佐伯区ボランティアセンターも何度か初の休館を経験しました。未曾有のパンデミックの中で、ボランティアの皆さんがいろいろ工夫を凝らし、日程調整し活動再開という時でさえも感染者が増加し、あえなく活動中止になったという落胆された声もたくさんお聞きしました。
令和5年度が皆さんにとって楽しく活動ができますように♡